

第 383 回狛江市行財政改革推進本部会議会議録

- 1 日 時 令和 3 年 10 月 19 日（火）午前 9 時 50 分～9 時 56 分
- 2 場 所 市長公室
- 3 出席者 本部長 松原市長
副本部長 平林副市長
副本部長 柏原教育長
本部員 高橋企画財政部長
本部員 石橋総務部長
本部員 鈴木市民生活部長
本部員 小川福祉保健部長
本部員 片岡子ども家庭部長
本部員 門井環境部長
本部員 小俣都市建設部長
本部員 小川議会事務局長
本部員 上田教育部長
事務局 古内財政課長
- 4 欠席者
- 5 議 題 1. 狛江市中期財政計画（令和 3 年度ローリング版）（案）について
2. その他

6 会議概要

本部長 それでは、議題 1「狛江市中期財政計画（令和 3 年度ローリング版）（案）について」説明をお願いします。

事務局 資料 1 ページ，中期財政計画改訂の目的については，財政計画策定後の状況の変化を反映するため財政見通しの修正を行い，計画期間を延伸するとともに，計画期間最終年度の財政指標目標値を設定するものである。

計画期間については 1 年延伸し，令和 4 年度から令和 6 年度までとする。

2 ページ，財政規律，基準及び令和 2 年度の結果については，令和 2 年度の取組結果として，設定した 3 つの財政規律，基準に基づいた財政運営を行うことができている。

5 ページ，表中の事業債発行額の基準において，元金償還額以内の発行としていたものを，平成 30 年度からは，3 箇年平均で 8 億円以内としたため，表中に 3 箇年平均の発行額等を加えている。

6 ページ，基金の考え方及び残高目標額等について，各基金の目標額に変更はないが，7 ページにて，新型コロナウイルス感染症対策基金を新たに設置したため，追記している。新型コロナウイルス感染症対策基金は，東京都区市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金を原資とし，令和 3 年度末までの時限のものである。

8 ページ，財政指標目標値（令和 6 年度決算）及び進捗状況について，令和 2 年度の進捗状況は，設定した 3 つの目標値，全てを達成している。また，令和 6 年度の目標値については，経常収支比率は，現状と同様であり 90%以下，26 市中 10 位となり，9 ページの実質公債費比率は，下水道が公営企業会計に移行し

たことによる会計処理により数値が改善したこともあり、0.3ポイント減の1.5%以下、10ページの将来負担比率は、現状以下の6.3%以下となっている。

11ページ、令和4年度から令和6年度までの中期財政見通しについて、令和2年度決算及び令和3年度の第7号補正予算後の予算額に令和2年度からの繰越額を合算した額をベースとして、推計条件のもと、令和4年度から令和6年度までの財政フレームを作成し、12ページに記載している。

歳入について、新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ市税は、回復傾向となっているが、景気の不透明感は続いており、令和2年度決算額までの回復には時間がかかると見込んでいる。総務省の概算要求、地方財政収支の仮試算及び骨太の方針で、地方の一般財源総額の確保が明記されたことから、地方交付税で、その財源不足を補填している。

歳出について、扶助費及び繰出金が高齢化の進展等により増加するとともに、投資的経費が小中学校、市民ホール及び市民センター等の大規模改修等により、令和5年度まで大幅増となっている。

歳入歳出差引額については、令和4年度は1億3,400万円程度の財源不足となり、令和6年度までの3箇年で累計5億4,200万円程度の財源不足となる見込みであることから、歳入の確保と歳出の抑制を図るとともに、予算編成の中で精査をしていく必要がある。

13ページ、基金及び市債の推移について、投資的経費の増加により、基金残高は減少していくとともに、市債残高は一時的に増加する見込みとなっている。

意見等あれば、10月21日正午までに財政課へ連絡をお願いする。その後、調整の上、次回の行財政改革推進本部会議にて、再度審議をお願いする。

本部長 質問・意見等なければ、内容について、各部署で確認することとし、他になければ、第383回狛江市行財政改革推進本部会議を終了する。